

「キングを倒せ！！」

スロープゾーンからボールを押し出して、相手コート of 陣地に立っているキングを早く倒したら勝ちとなるゲームです

1. 競技

- ① 6足歩行ロボットがボールをスロープゾーンより押し出して、相手コート of 陣地に立っているキングを早く倒した方が勝ちとなる。
- ② 使用するボールは、ゴルフボール(ロストボール) 重さ46g・直径4.28cm(微妙な誤差有り)とし、各チーム16個ずつ使用する。
各選手は、お茶のペットボトル500mlを使ってキング×1人と、ナイト×2人を用意する。キングは、キングらしい装飾をしなければならない。



使用ペットボトル500ml：日本コカ・コーラ株式会社 綾鷹(あやたか)

※装飾範囲は底より3.5cmの高さ以上に付けること。

※キャップは付けたままとする。

※ラベルを剥がしてから作成すること。

※ペットボトルに穴をあけるなど、変形させてはならない。

※キング、ナイトともペットボトルの重量は装飾して30.0gまでとする。
(車検時は、主催者側で用意したばかりで計量して30.0gまでとする)

※装飾に粘着性テープ、マジックテープ、磁石などペットボトルを合体する機能は失格となる

2. 競技時間

- ① 競技時間は2分とする。競技終了の合図ですぐにロボットを制止し、コントローラーを地面に置かなければならない。
- ② 競技中何らかのトラブルでロボットが動かなくなったとしても、通常は時計を止めず競技を続行し、時間延長は行わない。ただし、審判の判断で時計を止めたり、競技を最初からやり直す場合もありうる。

3. 競技コート・他(詳細は、次項以降の図を参照のこと)

- ① 競技コートは、170cm×340cmの長方形の枠内とする。
- ② 競技コートは、スロープゾーンの中央部を養生テープで仕切られている。
- ③ 操縦エリアは、自コートの外側をテープで仕切られていて、操縦エリア外に立ち入ることができない。
- ④ スタート時、ボールは、ボールエリアに16個をコートの角に4×4の形に収められている。
- ⑤ ボールエリアの大きさは、20cm×20cmとなっている。

4. スタート

- ① コートの準備が整い、競技者がロボットをスタートエリアにセット、自分の陣地内に持参したペットボトルで作成したキング1人とナイト2人をセットをした後、競技を開始する。
- ② スタート時にロボットは、スタートエリアの枠(縦30cm×横30cm)内に収まっていなければならない。

5. 競技の進行

- ① 競技中、コート外に飛び出したボールは無効となり回収される。
- ② 自コート内のボールはすべて使用してもよい。
- ③ 審判が、ロボットのコードが互いに絡んで、競技の実行が困難と判断した場合、競技を中断し両者自分のスタートエリアから再スタートを行う
- ④ 競技中ロボットが転倒または不調となったり、コードが絡んで動けなくなった場合、「リトライ」を宣告すればロボットを回収し復帰させることができる。

きのくにロボットフェスティバル2013 全日本小中学生ロボット選手権 小学生の部

この間競技は中断されない。再スタートはスタートエリアから行う。

- ⑤再スタートはロボットが完全にスタートエリアに収まっている必要はない。
- ⑥競技の中断またはリトライなどで、ロボットを回収するためならば、ロボットを手で触る、相手の操縦エリアに立ち入ったりコートに手をつくなどの行為を行っても反則とならない。ただし相手の動作を妨害してはいけない。また、止む得ない場合を除きボールを手で触ったり動かしてはいけない。(手で触ったボールは回収する)
- ⑦修理・調整が必要な場合はコートの外で作業を行うこと。このとき作業できるのは操縦者1名のみである。(工具はポケットなどに操縦者が所持している物のみとする)

6. 勝敗

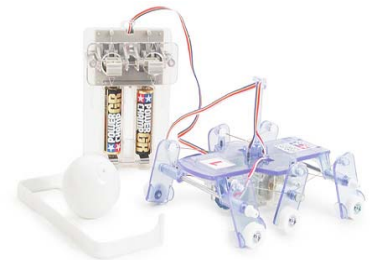
- ①ボールでキングを倒した場合、競技時間内であっても倒した方の勝ちとなり、試合は終了する。
- ②競技時間内にキングが倒せなかった場合、ナイトを多く倒している方が勝ち。ナイトも倒れていなければ、コート内のボールの数が少ないほうが勝ち、ボールが同数の場合はキングが陣地の外に近い方が負けとなる。
- ③それでも決まらない場合は、ジャンケンで勝敗を決める。
- ④ペットボトルが倒れている状態は、以下の場合である。
 - ・停止した状態で、ペットボトルの底面すべてが地面に付いていればよいが、傾いて一部浮いて停止した状態は倒れたものとする。
 - ・ペットボトルの側面が床についたり、装飾が床についても倒れたものとする。
 - ・ペットボトルが陣地から出れば倒れたものとする。

7. 反則・失格

- ①次のようなことをすると反則として、審判が警告を与える。
 - ・試合中に競技者がコート上面に触れたり、相手の操縦エリアに立ち入った場合。
 - ・ロボットの一部分が自コート以外のコート表面に触れた場合。(テープの上は良い)
 - ・ロボットを操縦以外の方法でボールを動かしたり、コントローラのコードを引っ張ってロボットを動かした場合。
 - ・競技者がボールを触った場合。
- ②次の場合は失格となる。
 - ・試合中に3回反則を行った場合。
 - ・反則を行った時に審判の警告に従わず、その反則行為を続けた場合。
 - ・ペットボトルを合体するような装飾機能は失格とする。
 - ・その他、審判が重大な違反行為と判断した場合。

8. ロボット

- ①ロボットのキットは、タミヤ リモコン インセクト (ITEM 71107)を使用します。組立講習会で配布しますので、出場希望者は必ず参加してください。組立講習会に参加できない場合は試合にも出場できません。
- ②ロボットには次のような改造ができます。
 - ・ロボットに好きな色を塗ったりステッカーをはる。
 - ・ロボットに自分で工夫した部品を取り付ける。
- ③次のような改造をしてはいけません。
 - ・もとからある部品を削る、切り取るなどして形を変えてしまう。
(自分でつくった部品をねじなどでとめるため穴を開けるのはOK)
 - ・もとからある部品を交換する。(部品がこわれたりして、新しく同じ部品に交換するのはOK)
 - ・コートや荷物、または相手のロボットを汚したり傷つけたりするような部品を取り付ける。
 - ・コントローラを改造したりコードを長くする。
 - ・ロボット上面のコントロールボックス固定棒は取り外してもかまいません。
- ④スタート時にロボットは、スタートエリアの枠(30cm×30cm)内に収まっていなければならない。高さは自由です。スタート後はサイズが大きくなってもかまいません。



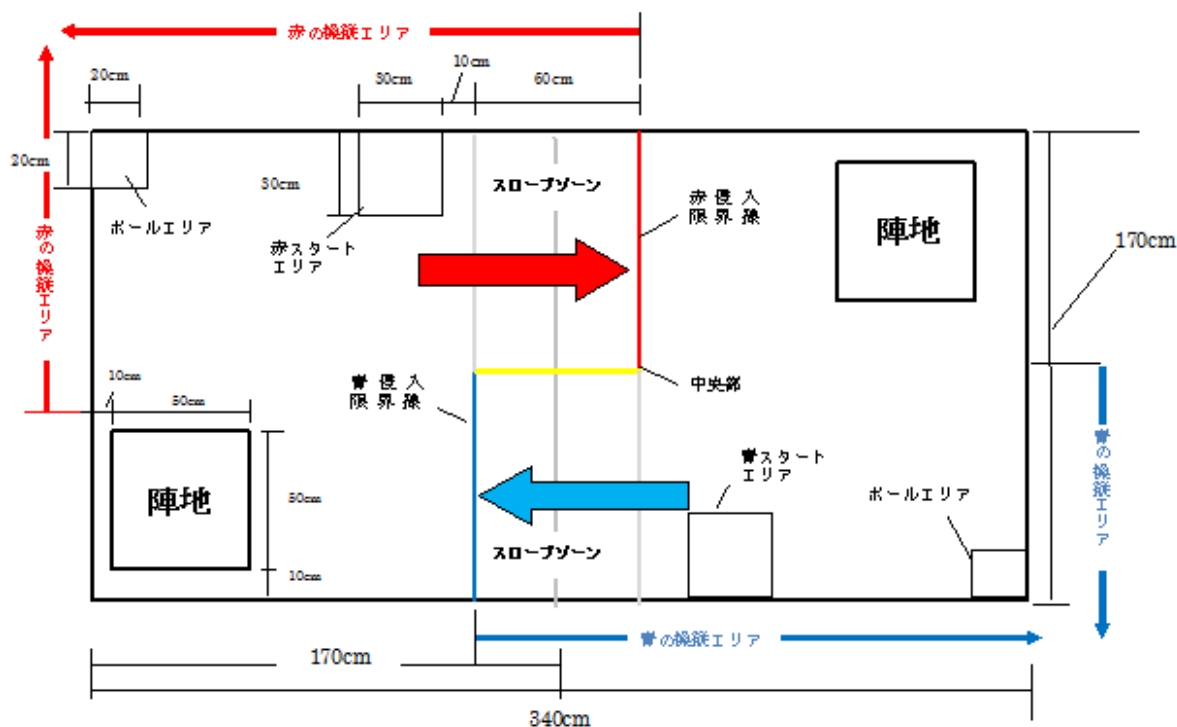
きのくにロボットフェスティバル2013 全日本小中学生ロボット選手権 小学生の部

⑤使える電池は、単3型アルカリ乾電池(公称電圧1.5V)2本か単3型充電式電池(公称電圧1.2V ただし、ニッケル水素電池は使用不可とする。)2本までです。電球やLEDを光らせるための電池は別に使用してもかまいません。

9. 競技者

①競技中操縦エリアに入ることのできるのは操縦者1名のみである。競技中ロボットの修理・調整が必要な場合も、ロボットに触れることのできるのは操縦者のみである。

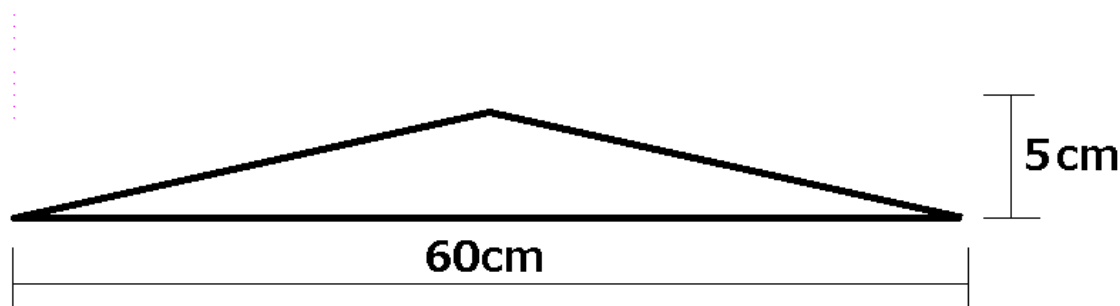
10. 競技コート詳細



スロープゾーンの端とコート面はマキシングテープで固定されている。

スロープゾーンの詳細寸法

材質 4mm厚シナベニアを使用したスロープをフィールドの上に置き使用する。



※競技に使用するゴルフボールはロストボールのため、多少キズ・汚れがある場合があります。
重さ 4.6g・直径 4.28cm (微妙な誤差有り。)